製品安全データシート

１．製品等及び会社情報

１．１ 製品の特定

製品名：　**ローヤルアロー　タイヤ＆レザーワックス　（油性）**

主な用途：　タイヤおよびレザー用保護艶出し剤

１．２ 会社情報

会社名：　株式会社ユーエスシー

住所：　〒183－0044　東京都府中市日鋼町１番１

担当部門：　営業１部

電話番号：　０４２－３５１－００１１　　ＦＡＸ番号：０４２－３５１－００１０

e-mail：

改定日：　２０２４年　２月２８日

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

・引火性液体	区分３
・特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分３
・誤えん有害性	区分１
・水生環境有害性　長期（慢性）	区分４

※上に記述のないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」

ＧＨＳのラベル要素

シンボル



注意喚起語

・危険

危険有害性情報

●引火性液体及び蒸気

●（麻酔作用）眠気またはめまいのおそれ

●飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

●長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

安全対策

＊使用前にラベルをよく読むこと。

＊全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

＊上記用途以外には使用しないこと。

＊熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

＊容器を密閉しておくこと。

＊容器を接地しアースをとること。

＊防爆型の【電気機器/換気装置/照明機器/…】を使用すること。

＊火花を発生させない工具を使用すること。

＊静電気放電に対する措置を講ずること。

＊保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

＊粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

＊屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

＊火災の場合：消火するために水（噴霧）、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他［耐アルコール性泡消火剤］を使用すること。

＊皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水【又はシャワー】で洗うこと。

＊吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

＊飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

保管及び廃棄方法

＊子供の手の届かない所に施錠して保管すること。

＊容器の保存は、日光を遮断し、必ず密栓し、温度４０℃以上になる所、水周りや湿度の高い場所には置かないこと。

＊換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

＊容器の廃棄の際は、中身を使い切ってから捨てること。

＊内容物や容器を廃棄する場合は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

３．組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物

含有成分及び含有量

成分名・化学名	含有量 mass%	CAS No.	化審法No.	安衛法No.	PRTR 法No.	毒劇法No.
シリコーンオイル	１５～２０	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
石油系溶剤	８０～８５	64741-65-7	9-1690	非該当	非該当	非該当

注）化審法No.　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法No.　労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法No.　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号
毒劇法No.　毒物及び劇物取締法の政令番号

４．応急措置

眼に入った場合：　水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。・眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当を受けること。

皮膚に付着した場合：　直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水【又はシャワー】で洗うこと。・気分が悪いときは医師に連絡すること。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。　・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。・気分が悪い時は、医師に連絡する。

飲み込んだ場合：　無理に吐き出させずに、直ちに医師の診察を受ける。

５．火災時の措置

消火剤：　炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、その他［耐アルコール性泡消火剤］

消火方法：
- 初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
- 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項
- 風下の人を退避させる。
- 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

環境に対する注意事項
- 廃棄物は関連法令に基づいて処理すること。
- 河川や一般廃水溝等に排出しないように注意すること。

除去方法
- 少量の場合は、砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後完全にウエス等で拭い取る。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
- 眼及び皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用する。
- 周辺で火気、スパーク、高温物の使用は避けること。
- 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）を使用する。
- 取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行なう。作業着に付着した場合は着替える。

注意事項
- 指定数量以上の量を取扱う場合には法で定められた基準に満足する貯蔵所、取扱所で行なう。
- 炎、火花又は高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させない。

安全取扱い注意事項
- 常温で取扱うものとし、その際水分、きょう雑物の混入に注意する。

保管

適切な保管条件
- 容器は密栓し、直射日光の当たらない冷暗所に貯蔵する。

８．ばく露防止及び保護措置

設備対策：
- 取扱い設備は防爆型を使用する。
- 排気装置等を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- 取扱い場所の近くには、高温、着火原となるものが置かれないような設備とすること。
- 屋内で作業を行う場合は局所排気装置などにより作業者がばく露から避けられるようにすること。
- 取扱い場所の近辺に洗眼及び身体洗浄の為の設備を設ける。

管理濃度：　規定なし

許容濃度：　石油系溶剤　：HSPA OELs TWA(8h) 1.200mg/m3

保護具：　呼吸用保護具：　必要に応じて防毒マスクを着用する。

眼の保護具：　必要に応じて普通型眼鏡着用する。
保護手袋：　長期間接触する場合には耐油性の保護手袋を着用する。
保護衣：　長期間取扱う場合には耐油性の長袖作業服等を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外　観　：　無色透明液体
揮発性　：　　引火点　：　４３℃
爆発限界　：　上限%：有用な情報なし　下限%：有用な情報なし
溶解度　水：　不溶　　密度（２７℃）：　0.7830
流動点　：

１０．安定性及び反応性

可燃性：　有り
発火性(自然発火性、水との反応性)：　なし
酸化性：　なし
自己反応性・爆発性：　なし
安定性：　安定
反応性：　強酸化剤との接触を避ける

１１．有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

シリコーンオイル
急性毒性（経口）：ラット LD50 ＞ 5000 mg/kg
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：中程度の刺激
石油系溶剤
急性毒性（経口）：低毒性　LD50>5000 mg/kg　ラット
急性毒性（経皮）：低毒性　LD50>5000 mg/kg　ラット
急性毒性（吸入）：高濃度によって頭痛、めまい、悪寒などの中枢神経系抑制を引き起こすことがある。
皮膚腐食性・刺激性：軽度の皮膚刺激が生じる。長時間／反復接触は皮膚炎を引き起こす皮膚の脱脂の原因になる可能性がある。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：眼に殆ど刺激はない。
誤えん有害性：飲み込んだり嘔吐した時に肺への吸引により、致命的な化学物質起因の肺炎を引き起こすことがある。
生殖細胞変異原性：変異原性があるとは考えられない。
発がん性：発がん性があるとは考えられない。
生殖発生毒性：発生毒物があるとは考えられない。出生率の低下はないと思われる。

１２．環境影響情報

シリコーンオイル
水生環境有害性（急性）：データがなく分類できない。
水生環境有害性（慢性）：データがなく分類できない。
石油系溶剤
水生環境有害性（急性）：LC/EC/IC50＞1000mg/L
水生環境有害性（慢性）：空気中の光化学反応により迅速に酸化する。本質的に生分解性がないと考えられる。生態蓄積性に関しては潜在的蓄積性を有する。

１３．廃棄上の注意

製品、容器等の廃棄は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

１４．輸送上の注意

国際規制

	道路輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号	1268	1268	1268
国連正式品名	石油製品	PETROLEUM DISTILLATES, N.O.S.	PETROLEUM DISTILLATES, N.O.S.
輸送危険物分類	3	3	3
容器等級	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
環境有害性	非該当	非該当	非該当

陸上輸送：消防法等の危険物輸送について定めるところに従う。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送：航空法に定めるところに従う。
混載禁止：第１類及び第６類の危険物及び高圧ガス。
国連番号：1268（石油蒸留物又は石油製品）
緊急時応急措置指針番号：128

１５．適用法令
① 消防法：　危険物第４類第２石油類（非水溶性）　危険等級Ⅲ
② 化管法(PRTR)：　非該当（2023 年 4 月改正前後とも）
③ 船舶安全法：　高引火点引火性液体
※　都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

１６．その他の情報
１６.１　引用文献
① 石油製品安全データシート作成の手引き　　石油連盟（平成１２年７月）
② ＪＡＣＡ(日本オートケミカル工業会)編集：化学物質管理データベース
③ ＧＨＳ分類結果データベース　独立行政法人製品評価技術基盤機構
④ 原料の製品安全データシート
⑤ JIS　Z7253「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS)」

１６.２　ＪＩＳの有無
なし

１６.３　記載内容の問い合わせ先
連絡先：　株式会社ユーエスシー
電話番号：　０４２－３５１－００１１
ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０

※注意
製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取り扱う事業者に提供されるものです。
取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

[会社情報]

販売者：(株)スズキ自販中部
所在地：愛知県名古屋市瑞穂区堀田通4-4
TEL:052-884-8011